



2024年度防災ファミリーキャンプ特集



防災ファミリーキャンプは、被災を想定して、非常食や身の回りのものを利用しての避難生活を体験することにより災害対応力を身に付ける目的で市東地域15町会共創プロジェクトと市東中避難所運営委員会が共催で2022年度より行なっています。2024年度は市東中学校のグラウンド、武道場をお借りして実施しました。恒例となっている竹を使った食器作りや炊飯、雑草を利用した料理などに加え、鶏をその場でさばいて食べたりとこれまで以上に充実した内容となりました。また、自然豊かな市東地域の特徴を活かして、夜のホタル観賞、川遊びや釣り、昆虫採集など自然の中で思いっきり遊び、夏休みの充実した2日間となりました。

恒例の竹の食器と飯盒作り

被災して食器も炊飯器も使えなくなった時、この地域に大量にある竹を使おう。そういう考えから、防災ファミリーキャンプでは竹でコップや箸を作ったり、また、飯盒も作ってお米を炊きます。竹の飯盒は市東地域15町会共創プロジェクトの自然の学校などでもお馴染みとなっています。

竹飯盒は比較的肉厚な孟宗竹を使い、節の間に蓋になる部分をくりぬき、お米と水を入れて炊飯します。標準的な多きさの竹で2～3合程度のお米を炊くことができます。お米を炊く手段として身近にある竹を利用することから、災害時だけでなく様々な場面で利用できます。また、竹を活用することで、放置竹林が引き起こす問題解決にも繋がればと考えています。



2024年度防災ファミリーキャンプ特集

鶏の解体や雑草の料理

2019年の台風15号の時もそうでしたが、災害発生時にスーパーやコンビニの食材が全て売り切れという事態も発生します。その状態が長く続くと食材のストックも使い果たしてしまいます。そのような時に自分で食材を確保することも想定しておきたいものです。

防災ファミリーキャンプでは毎度恒例の雑草料理。今回はハゼラン、スベリヒユなど身近な雑草を使います。特にスベリヒユは栄養的にも優れています。身近な雑草料理を皆さん、美味しい美味しいと食べていました。



今回は、プロジェクトのメンバーが庭で平飼いにしていた鶏を2羽提供してくれました。それをその場で締め、羽をむしり、解体していきます。子供たちは怖がるかと思いきや、興味津々で解体の様子を見守ります。スーパーで売っている鶏肉の部位は「ああ、この部分だったんだ」という発見があったり、メスの鶏からは未成熟な卵が出てきたり。さっきまで生きていた鶏がこうして食材になっていく様を見るのは、命をいただくということの意味と、普段何気なく食べている鶏肉などの食材の大切さに気付く貴重な体験でした。

このほかにも、海でとってきたアジをさばいてアジフライにして食べるなど、私たちは自然に生かされているんだということあらためて感じる事が出来ました。

2019年の台風の時の経験から学ぶ

2019年の15号台風では市東地域でも大きな被害が出て、倒木で主要な道がふさがったり、2週間にわたって停電が続いたりしました。そんな中で地域の人々が自力で復旧作業をしたり、みんなで助け合ったりして乗り越えることが出来ました。そのような体験を通して得られた教訓、災害時の行動の基本などのお話をみんなで学びました。実際に災害に直面して得られた教訓は貴重なものです。これを今後の災害時に活かしていきたいものです。



自然の中で思う存分遊ぶこと

災害が発生した時に自分の安全は自分で守るのと同様、「自然の中での安心安全は自分で作るもの」ということは市東地域15町会共創プロジェクトの自然の学校などの場面で必ず最初にお話があります。自然の中には危険な箇所があるし、危険な生き物に襲われたり、危険なことが起こり得ます。常に自分の安全は自分で意識して守り、思う存分自然の中で遊びましょう。

キャンプ2日目は川の中に入って遊んだり、釣りをしたり、昆虫採集をしたり。これは人工的なテーマパークのような場所では決して味わえない体験です。自分たちで工夫して自然の中で思う存分遊ぶことからは多くのことを学ぶことが出来ます。災害も自然が引き起こす現象です。自然の中で思う存分遊び、自然との安全な付き合い方を学ぶことも、実は防災意識の基本に繋がっています。

～プロジェクト活動ピックアップ～

市東38祭りに「十五や」出店

2024年8月10日。暑さもヒマワリも目いっぱい元気なこの日、市原みつばち牧場で開催された市東38（みつばち）まつりに、十五やも参加しました。低価格の駄菓子や、大量の水で冷やしたラムネは大評判。その他ヒマワリのモチーフの手作り雑貨、十五やで使える金券の入ったおやさいマスコットガチャ、無料の子供服を提供したぐりコーナーなど、どれもお客様には好評でした。そして、恒例の30万年前の貝殻の発掘体験コーナーは、メンバーのお子さんたちが店長として大活躍してくれました。

市東地域15町会共創プロジェクト直営ショップ「十五や」
市原市東国吉715-1（ナルナルさん向かい）

【十五や営業時間】

水曜日～金曜日：15:00～17:00

土日祝：12:00～17:00

月、火定休日（祝日の場合は祝日営業）

その他不定休あり

※裏表紙にあるクーポン持参でお菓子1個プレゼント



百ねんたんぼの稲刈り

2024年8月24日。猛暑の中でしたが、瀬又にある「百ねんたんぼ」で稲刈りが行なわれました。

「百ねんたんぼ」は農業後継者不足やそれに伴う耕作放棄地の拡大といった地域課題に対応し、「百年後も美しい田園風景と豊かな自然の中で人々が暮らせる地域」を目指して、2023年度より地主さんをはじめ地域の人々の協力を得て、市東地域15町会共創プロジェクトが運営しています。

今年は稲の成長がとても早く、予定よりもかなり早い稲刈りとなりました。猛暑の中でしたが、地域内外から47名もの参加者が集まりました。

まずはプロジェクトスタッフから稲刈りの仕方を教わり、ワイワイと稲刈り開始です。暑いので、適宜休憩しながらですが、みんな楽しそうに稲刈りをしていました。

あまりの暑さもあり、お昼前に一旦終了。その後はプロジェクトスタッフで稲刈りをしました。稲刈りをしていると、自然と立ち寄ってお手伝いしてくださる方もいて、翌日にはきれいなオダガケが出来上がりました。収穫したお米は参加者に配布し、また、プロジェクトの様々なイベントなどで活用していく予定です。



市東地域15町会共創プロジェクトからのお知らせ

技能講習参加者募集

草刈りや森林整備などに必須の刈払機やチェーンソーといった機器を使用する機会が多い市東地域。

市東地域15町会共創プロジェクトではプロジェクトメンバーの有資格者が講師となり、技術技能講習センター様のご協力を得て、これらの機器の特別講習会を開いています。

特別講習を受講すると、労働安全衛生法上の特別教育修了証を取得することができます。

初めて使う方、普段使い慣れている方、メンテナンス方法を中心に講習を受けたい方など、レベルに合わせた講習が可能です。

- 刈り払い講習：1日（座学+実技）
- チェーンソー講習：2日（座学+実技）

この他にも、小型車両建設機械（ユンボ）の講習も行なっています。個人でも、団体でも、会社でも、お気軽にお問い合わせください。

お問い合わせは、tochi@shito-ichihara.com まで



イチ推しポイント貯まります！



イチ推しポイントは、市原市独自のポイント制度です。市民活動団体などが実施するイベントや市が主催・共催するイベント等に参加することで、ポイントを貯めることができます。

貯めたポイントは、市の魅力ある商品や、協力店で受けられるサービスと交換できます。また団体への寄付も出来ます。

市東地域15町会共創プロジェクトが主催するイベントに参加すると、イチ推しポイントが溜まります（通常のイベントでは、1イベントで一人500ポイント）

また、「十五や」は現在市原市が行なっている「公益的な活動をしている拠点へのポイント付与の実証実験」の拠点となっています。このため、来店ただけで50ポイントを貯めることが出来ます（2025年3月31日まで）。

今後のイベントスケジュール

2024年9月21日：月イチ活動市東塾～田んぼの終わりの作業と収穫祭

2024年10月25日～27日：市東地域15町会フォトコンテスト回顧展

2024年11月初旬頃：自然の学校

2024年11月20日：「市東のお米で太巻き」講習会（金剛地ふれあい館）

※日程等、都合により変更になる場合があります。各イベントへの参加申し込み等詳細は別途お知らせします

ポータルサイトやSNSで情報発信中

市東地域15町会共創プロジェクトの活動の様子や、イベント参加申し込みなどのお知らせはプロジェクトのポータルサイトや各種SNSで適宜発信しています。また、この「共創プロジェクトだより」や、ポータルサイトへの地域の店舗や企業様の広告掲載や、地域の名所などについての記事も適宜募集しておりますので、ご希望がありましたら下記のプロジェクト窓口メールアドレスまでお知らせください。

<https://shito-ichihara.com/index.html> 連絡先メール：contact@shito-ichihara.com



ポータルサイト



Instagram



YouTube



X (Twitter)



Facebook



Instagram (十五や)

